



おんぼろは **日本共産党**
相談センターニュース
 横浜市議員
所長 みわ智恵美

No.56



日本共産党港南区相談センター
 2017年6月・7月 No.56
 横浜市港南区上大岡西 1-19-20-301
 ☎045-844-3635 FAX045-841-8975
 HP:http://jcpweb.jp/miwa/
 日本共産党横浜市議員団
 ☎045-671-3032 FAX045-641-7100

安全な通学路整備にむけ 市の責任で歩道の確保を

芹が谷の住宅地開発に伴う歩道整備について市長に質問 5月26日(金) 一般質問

歩道の確保を

港南区芹が谷の国立南横浜病院跡地への住宅地開発に伴う、歩道の整備について、林文子市長に質問しました。

現在、開発地に面した道路には、わずかな路肩しかありません。又、道路をはさんだ反対側には(右の写真参照)保育園もありますが、歩道が100センチほど途切れておりません。この道は、救急車両が通り、南区と戸塚区の区境の通り抜け道路。今後、開発される予定の戸建住宅には子育て世代も多く入居することが予想されます。

学校関係者や町内会の皆さんからは、安全な歩道をと願う声が出されています。安全な歩道は安全な通学路となるからです。

土地の取得も含めて取組みを

しかし、開発事業者は、市の条例に沿っているからと、片側一桁以下の歩道設置を提案しています。



南横浜病院跡地の再開発現場(左側)の前の道路。右側(みわ智恵美が幟を持って立っている側)は保育園もあるが歩道が無い

一方で、区土木事務所は、より安全な歩道確保にと、ねばり強く事業者に働きかけています。

私は、両側に安全な歩道ができるよう、横浜市が当該地域の土地の取得も含めてとりくむべきと求めました。

市長は、「当該開発区域にお住まいになる児童の通学路として、利用されることも考えるために、開発事業の一環として、歩道整備等の安全確保策について、事業者をお願いしている。」「安全確保については、事業者にしっかりと以後もご説明し、安全確保をして

いただきたいということは申し上げていく」と答弁しました。

開発は街づくりのチャンス

今、人口減少社会が到来し、国の方針も変化し、新たな国土利用計画は、「むしろこの機会をとらえて環境負荷の少ない安全で暮らしやすい都市の形成を目指すことが重要である」としています。

港南区大久保の通学路では、子どもの命を奪う痛ましい交通事故がおきました。しかし、既存の街並みの変更はきわめて困難です。

条例改正も視野に入れて

新たな開発計画などは、安全な住民本意のまちづくり再生のチャンスととらえ、その視点から、「横浜市開発事業の調整等に関する条例」の今日的な見直しの必要性についての検討をもとめました。市長は、「引き続き現行基準での運用を進めていく」と答えるにとどまりました。

区民要望を土木事務所に



区民要望を土木事務所に提出。6/9

この4月から日本共産党横浜市議員団が行ってきた市民要望アンケート。港南区内から寄せられたアンケートは900通以上(全市で1万通超)。ご協力ありがとうございます。

今回第一次として44項目。今後、第二次目の提出と、土木事務所との懇談を予定しています。